



第4号

※ホームページは「鶴川第二小学校」で検索してください。
学校日記、各種おたより、学校情報等がご覧になれます。

節目を大切に ～創立60周年 一学期の終わり～

校長 安部 貴史

梅雨の時期ですが、日差しはすでに真夏を感じさせます。学校では天候にも健康にも気を付けるように声をかけています。保護者、地域の皆様には教育活動へのご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

7月3日には、創立60周年式典を行います。そして、一学期の最後の月でもあり、この7月は、本校にとって大きな節目となります。「節目」という言葉には、「物事の区切りとなる大切なところ。」という意味があります。

物事に区切りをつけることは、次の一歩へ進むために大切なことです。この言葉のもとになった竹の節目は、その節目のそれぞれに成長するための成長点が60から80あります。つまり、その数だけ伸びるところがあるということです。そして、この節目があることによって、しなやかですが、折れない強さにもなっているそうです。

学校においてもこうした節目に、少し立ち止まり、学んできたことを振り返り、確認し、次にやるべきことを考えます。その活動自体が、子供たちの成長になっているのだと思います。

創立60周年の節目は、そういう意味では子供たちが学校の歴史を考えるきっかけとなる大きな節目です。6月28日には、周年記念集会を行いました。6年生が児童代表として出席するお祝いの演技を全校児童が見ながら、また、一緒に歌いながら子供たちが学校の節目を創っていました。

一学期の最後の月に、大きな区切りをつけることが続きますが、一つ一つの活動で子供たち自身が学びを自覚できるよう、力を尽くしてまいります。一学期の最後まで、教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

創立60周年記念式典

<記念式典> 7月3日(水) 13:30より

式典には、6年生が児童代表として出席します。

式典当日に、在籍している児童に以下の記念品を配布します。

○記念品

・周年記念クリアファイル(航空写真の印刷されたもの)・創立60周年記念誌・トートバッグ(校歌入り)
周年記念行事は、学校のここまでの歩みを在籍している児童や教職員、保護者、地域の皆様、今まで関わっていただいた皆様と振り返り、区切りをつけるものです。

今回は、無理のない、持続可能なやり方を探りながら心を込めて、シンプルにと考えています。

新たな一歩を踏み出せるよう、皆様のご支援をいただければ幸いです。

創立60周年記念集会 6月28日(金)

児童が中心となり、60周年を祝う集会を全校で実施しました。全校でゲームをしながら作り上げるお祝いの言葉や6年生が式典でも行うお祝いの呼びかけや合唱を通して全校でお祝いをしました。

児童が完成させた「60thおめでとう」の言葉の文字は、式典の日に昇降口近くに掲出します。

なかよし学級小中交流会 6月21日(金)

近隣の特別支援学級、なかよし学級と鶴川第四小学校のどんぐり学級、かわせみ学級、鶴川中学校のI組が、鶴川第四小学校に集まり、各学級の紹介や交流を深めるゲームを楽しく行いました。なかよし学級の子供たちも、堂々と学級の紹介をしました。久しぶりに集まった交流で、みんなの笑顔が印象的でした。

防災について【防災朝会 7月11日(木)】

今年度も防災朝会を実施します。近年、豪雨による災害が毎年のように発生しています。学区域の危険箇所を確認しながら、風水害に備えるための安全な行動についての学習をします。梅雨の時期、強い雨の日もありました。ご家庭でも気を付けることなどを話題にいただけると幸いです。

道徳授業地区公開講座 6月8日(土)

今年度は、「学校のよさ」を考えることを主な主題とした道徳の授業をご参観いただくとともに、保護者の皆様同士で子供たちの心を育てる上での課題などを話し合っていたくことを中心として意見交換会を実施しました。意見交換会には、100名近くの方にご出席いただきました。

以下、皆様よりいただいた主なアンケートのご意見です。（紙面の関係で、ある程度まとめさせていただいております。ご了承ください。）

<授業について>

- ・一人一人が深く考える時間、お友達と考えを伝え合い、それを自分の言葉で文字にして書き、最後はクラス全員が黒板の前に集まり発表しあえるという学習の中に学んできた成果が詰まっていました。
- ・教科書の話を読む先生を見て、よく聞いていました。意見も盛んに出ていました。
- ・子供同士で話し合い、自分以外の人どんな考えているのか知ることができるいい授業でした。

※道徳以外の学習について

- ・先生の話聞き、よく発言しようとしている。
- ・いろいろな考えを出し合っているところがよいと思いました。
- ・発言を先生に聞いてほしいのだと思います。先生がそばにいくと、いろいろな子供が発言できると思います。

<意見交換会について>

- ・他の方の意見を聞いて良かった。
- ・道徳の取り組みについて知る機会があったことは良かったです。
- ・何かテーマを決めた方がスムーズだったかもしれません。
- ・先生方がグループに入って話を聞いたりした方がお互い有意義かなと思いました。学校や授業の取り組みについてのこのような機会を今後も期待したいです。
- ・高学年の保護者の方と話す機会がないので、交流できる機会があると嬉しいです。

保護者の皆様にご参観いただき、子供たちは励みになった日であると考えています。教員の話し方、指導のやり方については、いただいたご意見を受け止め、改善してまいります。

意見交換会については、学校としても保護者、地域の皆様と子供たちの成長について話をする貴重な場であると考えています。ご参観いただく時間と意見交換を行う時間の設定を今回は、参観の間に話合いの時間をとり、観ていただく時間と分けるようにしました。このバランスは今後も考えていきます。

今回、多くの方にご出席いただき、保護者の方同士の話合いで意見を出し合っていたくこと、たいへん意義のあることだと受け止めています。ご家庭と学校、地域が共に子供を育てていくことが大切なことです。そのためにも、方向性を共通理解し、それぞれの立場で子供たちに働きかけていけるように、こうした機会を大切にする必要があります。

意見交換は、ほかにもありますが、教員の参加、論点を整理することなどの改善を検討していきますので、引き続きご出席をよろしくお願ひします。

授業をご参観いただくとともに、意見交換会にご出席いただいた皆様、ありがとうございました。

※今回は、中学校の大きな行事との日程の調整が十分にできていなかったこと、申し訳ありませんでした。

中学校とは、今後も連携をとっていきます。